

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(浅間小)学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ・やさしさいっぱい活動を充実していけるような話し合いをする。
- ・子供たちが夢や希望をもつことができるような活動設定について、学校のニーズに対応する。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・校長から学校運営方針について丁寧な説明や、各委員からの活発な質問をとおして基本方針を深く理解し、内容のある熟議ができた。
- ・いじめ防止基本方針についての詳しい説明を聞くことで、学校がいじめに対して毅然と向き合い、子供たちのために連携して対応していることが分かった。
- ・ランドデザインを具現化するための協議会の協力体制について熟議できた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・学校の教育目標と支援活動のつながりを意識して熟議ができた。
- ・夢や希望をもつことができるような活動設定について、企業サポートを通じた校外活動や職業講話、つばめボランティアの活動などについて、学校のニーズに対応できるよう、熟議ができた。
- ・教育活動の充実につながる支援活動について、多方面で具現化するための熟議ができた。つばめ応援団を中心に、子供たちに寄り添い一緒に考え指導する支援体制づくりが進んでいるため、子供たちがさまざまな地域の方と関わることで、夢や希望の実現につながると考える。
- ・やさしさいっぱい活動は、コミュニケーション能力の向上に有効であり、学校教育目標のやさしさいっぱいプランの具現化のためにも、やさしさいっぱい活動の継続が必要であると共通理解することができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・コミスクだよりが1回しか発行されていないため、情報発信は十分とは言えない。
- ・学校ブログや学校だより、協議会の会議録等が掲載されているので、保護者や地域にも十分な情報発信ができた。しかし、いつでも読むことができても、どの程度見てもらえているかは不明。
- ・自治会長や協働センター長が協議会に出席しているため、学校での活動状況などを地域と共有できている。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・ 子供一人ひとりが夢や希望を持てるような活動は学校を中心として地域でも定着してきた。大変有意義な活動であるため、来年度も継続して充実できるよう、学校のニーズについて熟議したい。
- ・ 浅間小学校に根付いたコミュニティ・スクールとして発展させていくために、今年度の振り返りをしっかりと行い、地域の多種多様な人材資源やサポートを活用できるようにしていきたい。また、学校運営との関わりについての理解を深め、浅間小がより地域に開かれた学校となるよう情報発信の方法についても考えていきたい。
- ・ 子供たちが夢や希望をもつことができるよう、学年担任制のメリットを生かしてキャリア教育が充実するような話し合いをしたい。
- ・ 学校運営方針を十分に理解し、子供たちの学校生活が豊かになるような具体的に話し合いたい。また、よりよい学校運営となるよう、子供たちのため、活発に意見を出し合える協議会にしたい。